

進行管理・実施状況評価の考え方

(1) 目的

本町においては、男女共同参画社会基本法に基づく市町村男女共同参画計画として、令和3年3月に「第5次さむかわ男女共同参画プラン」を制定した。

また、本計画は、寒川町総合計画「さむかわ2040プラン」に基づく分野別の基本計画の一つでもある。

第5次計画は、令和3年度から令和6年度を計画期間とする本町のあらゆる分野にわたる計画であり、その推進に当たっては、全庁的な取り組みを必要とする。

各事業にわたる計画の進捗状況を確実に把握し、その評価を行うことにより、計画の実効性を確保し、男女共同参画社会の実現に向けた諸施策を推進する。

(2) 評価の対象及び方法等

【評価の対象】

①事業実施担当課が実施する各事業の評価

各事業ごとに、事業実施担当課が自己評価を行い、町民窓口課（令和3年度から）において、その実施状況をとりまとめ、さむかわ男女共同参画プラン推進協議会（以下「推進協議会」という。）に報告し、意見を伺う。

②基本目標の評価

第5次さむかわ男女共同参画プランで定める4つの基本目標の評価は、各事業の評価内容を踏まえ、推進協議会において実施する。

推進協議会では、各基本目標が計画期間の中でどの程度進んでいるのか、遅れている部分についてはどのようにして進めるべきかなどについて、総合的な広い観点から評価するものとする。

なお、この基本目標の評価結果は次期計画の策定に関し重要な参考資料とする。

【評価の方法】

1. 進行管理表（別紙）により、各事業ごとに、事業実施担当課が自己評価を行い、さむかわ男女共同参画プラン連絡会（以下「連絡会」という。）に報告し、推進協議会へ最終報告を行う。

2. 事業の実施状況及びその評価内容について、町民に公表する。

【各事業の評価基準】

事業実施担当課が、目標の「達成度」、「今後の方向性」について自己評価を行う。

判定区分は下記のとおり。

【目標の達成度】

- A：目標達成
- B：概ね目標達成
- C：目標に向け事業が遅れている
- D：目標に向け事業がほとんど進んでいない

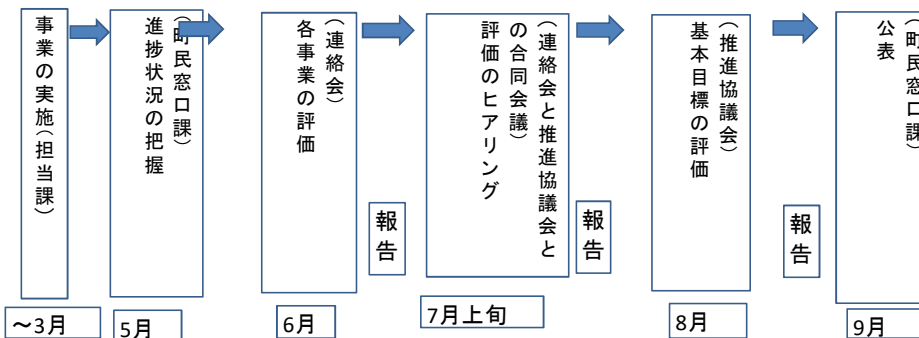
【今後の方向性】

1. 更に充実強化していく
2. 計画どおり取り組む
3. 一部見直しが必要
4. 事業の休止または廃止

→【目標の達成度】についての考え方

- A: 目標値に達している
- B: 目標値に対し80%以上の実績値
- C: 目標値に対し80%未満の実績値
- D: 目標値に対し取り組むことができなかった

進行管理・評価の流れ



<基本目標Ⅰ あらゆる分野での女性の活躍推進>

施策の基本的方向 1. 政策や方針決定過程などへの女性の参画の促進

施策の内容(1) 事業所等への女性登用の促進

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現 状 と 課 題 (令和5年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和5年度)	担当課
	事業内容	指 標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
1	管理職への女性登用の推進								管理職への登用は、男女の区別なく総合評価による抜擢人事としていることから、女性職員のみを優遇することは難しいが、仕事と家庭の両立に向けた各種制度の整備・周知もあり、目標を達成したことから、標記の評価とした。	人事課
	事業所としての町の取り組みとして、能力や意欲のある女性の管理職への登用を推進します。	管理職の職員数における女性の割合(%)	20	20	20	20	令和5年度末時点管理職数(7級・8級) 管理職数:56名 うち女性:11名(19.6%)	A		
			18	22	20		管理職への登用は、能力と実績に基づき任用していくことを基本としているものの、女性職員の比率は、年度によりばらつきが大きい状況となっている。これは、出産・子育て等を契機とする離職者等の発生によるものであるが、ここ数年は新規採用職員における女性の割合も高くなってきているほか、女性職員のキャリア形成に関する研修を企画するなど、取組を進めている。	2		

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現 状 と 課 題 (令和5年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和5年度)	担当課
	事業内容	指 標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
2	勤労者実態調査の実施						実施期間:7月1日～7月31日 回答率は目標には届かなかったものの、前回実施した令和2年度の回収率を上回った。 設問の中の従業員数に関することで、男性3,394人(69.6%)、女性1,482人(30.4%)と前回より男性の雇用率が高かったことがわかった。 管理職についても、男性711人(91.0%)、女性70人(9.0%)と、前回より男性の管理職の割合が上がっていることが分かった。 今後も回答率向上のため、様々な方策を講ずる必要があると考える。		令和5年度に実施した結果、郵送にて調査依頼を行い、前回を上回る回答率はあったものの目標には届かなかった。 そのため、今後も回答率向上のための方策を検討する必要があるため、より取り組みを強化していく必要があると考える。 3年に1度の実施のため、次回は令和8年度の実施を予定している。	産業振興課
	町内事業所に勤務する労働者の実態を明らかにし、労働行政の基礎資料とすることを目的に3年毎に実施し、その結果を事業所に周知します。	調査票の回収率(%)			40			B		
			-	-	33	-		1		

施策の基本的方向 1. 政策や方針決定過程などへの女性の参画の推進

施策の内容(2) 町審議会などへの女性委員の登用

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現 状 と 課 題 (令和5年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和5年度)	担当課
	事業内容	指 標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
			実績	実績	実績	実績				
3	女性委員登用の推進		26	28	30	32	地方自治法(第202条の3)に基づく審議会等の女性の登用状況 該当する審議会等数 23 総委員数 273名 うち女性委員数 58名 女性委員比率 21.2%	C	前年度(令和4年度33.4%)より登用率が減少し、目標を達成できなかった。	町民窓口課
	町審議会などの職指定委員の見直しを図り、女性委員の登用をより一層推進します。	町審議会の女性委員の登用率(%)	27	33	21	公募委員の選考に当たっては、男女比に配慮して女性委員の登用を進めているが、委員の選出を団体や組織に依頼する場合が多く、その団体や組織の特性から女性が少ないといった個別の状況もある。また、職を指定している場合に、その職に女性が就いていないことも多い。前年度(令和4年度33.4%)より女性委員の割合が減少しているため、次年度の目標値に向け、引き続き選出方法の工夫・選出団体への女性登用の意識づけに取り組む必要がある。	2			

施策の内容(3) 住民活動などにおける女性の活躍促進

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現 状 と 課 題 (令和5年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和5年度)	担当課
	事業内容	指 標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
4	女性の活躍のための講座の開催		100	100	100	100	①(2市1町)藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業 開催日:2023年(令和5年)11月22日(水) 会 場:茅ヶ崎市役所分庁舎6階コミュニティホール 講 師:能條桃子(のうじょう ももこ)氏 一般社団法人NO YOUTH NO JAPAN 代表理事 一般社団法人NewScene 代表 FIFTYS PROJEC 代表 テーマ:「当事者を政治の場へ ～若い世代・女性の政治参加促進の活動から～」 参加人数:55名 ②神奈川県との男女共同参画推進市町村連携事業 実施日:2023年(令和5年)12月18日(月)～2024年(令和6年)1月31日(水) 実施場所:YouTubeによる動画配信 講 師:並木 友里(なみき ゆり)氏 テーマ:仕事や家庭で役立つコミュニケーション講座 ～自分も相手も大切にするアサーションを学ぼう～ 参加者数:223名	A	①②の出席者数が合計278人であったため。 男女共同参画白書(令和5年版)によると、「未婚女性の理想のライフコース、未婚男性の将来のパートナーに対する期待を見ると、「両立コース」が「再就職コース」を大きく上回るなど、近年、主に若い世代の理想とする生き方は、変わってきている。 このような変化を捉え、我が国の未来を担う若い世代が、理想とする生き方、働き方を実現できる社会を作ることこそが、今後の男女共同参画社会の形成の促進において、重要である。また、このことが、家族の姿が変化し、人生が多様化する中で、全ての人の活躍にもつながるものと考えられる。」と報告されている。 固定的性別役割分担を前提とした長時間労働等の慣行を見直し、全ての人が希望に応じて、家庭でも仕事でも活躍できる社会を実現するため、意識改革として男女共同参画講演会や人権等についての講演会を開催することは意義のあることと考える。	町民窓口課
	女性の活躍促進のための講座を開催し、女性リーダーの育成や住民活動等への参画を促進します。また、町以外で開催される講座等について情報提供します。	講座の参加人数(人)								

施策の基本的方向 2. 働きたい、働き続けたい女性の支援
 施策の内容（1）女性の人材育成の充実

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現 状 と 課 題 (令和5年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和5年度)	担当課
	事業内容	指 標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
5	女性の活躍のための講座の開催 (再掲)						①(2市1町)藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業 開催日:2023年(令和5年)11月22日(水) 会 場:茅ヶ崎市役所分庁舎6階コミュニティホール 講 師:能條桃子(のうじょう ももこ)氏 一般社団法人NO YOUTH NO JAPAN 代表理事 一般社団法人NewScene 代表 FIFTYS PROJEC 代表 テーマ:「当事者を政治の場へ ～若い世代・女性の政治参加促進の活動から～」 参加人数:55名 ②神奈川県との男女共同参画推進市町村連携事業 実施日:2023年(令和5年)12月18日(月)～2024年(令和6年)1月31日(水) 実施場所:YouTubeによる動画配信 講 師:並木 友里(なみき ゆり)氏 テーマ:仕事や家庭で役立つコミュニケーション講座 ～自分も相手も大切にするアサーションを学ぼう～ 参加者数:223名	A	①②の出席者数が合計278人であったため。 男女共同参画白書(令和5年版)によると、「未婚女性の理想のライフコース、未婚男性の将来のパートナーに対する期待を見ると、「両立コース」が「再就職コース」を大きく上回るなど、近年、主に若い世代の理想とする生き方は、変わってきている。 このような変化を捉え、我が国の未来を担う若い世代が、理想とする生き方、働き方を実現できる社会を作ることこそが、今後の男女共同参画社会の形成の促進において、重要である。また、このことが、家族の姿が変化し、人生が多様化する中で、全ての人の活躍にもつながるものと考えられる。」と報告されている。 固定的性別役割分担を前提とした長時間労働等の慣行を見直し、全ての人が希望に応じて、家庭でも仕事でも活躍できる社会を実現するため、意識改革として男女共同参画講演会や人権等についての講演会を開催することは意義のあることと考える。	町民窓口課
	女性の活躍促進のための講座を開催し、女性リーダーの育成や住民活動等への参画を促進します。また、町以外で開催される講座等について情報提供します。	講座の参加人数(人)	100	100	100	100				
			135	188	278			2		
事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現 状 と 課 題 (令和5年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和5年度)	担当課
	事業内容	指 標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
6	就労支援講座の開催						「神奈川県かながわ労働センター」より共催申請のあった「ワーキングマザー両立応援カウンセリング」を全10回行った。 対象者の相談実績人数:14人 「湘南合同就職面接会」令和6年1月26日(水)開催。 参加企業数30社、求人数61件、求人数97名、面接延数94人、採用者数13人、不採用者数35人、説明のみ46人 「寒川町ミニ面接会」令和6年3月12日(水)開催。 参加企業5社、参加者延べ人数12名 その他、県等の他団体と協力して就労支援講座等を実践することができた。 今後も、各団体が実施する就労支援講座についても積極的に協力し、周知を図っていく必要がある。	A	県等の他団体と協力して就労支援講座等を実践することができたため。	産業振興課
	県や関係機関と共催し、就労支援のための講座を開催します。	講座の開催回数(回)	3	3	3	3				
			3	3	3			2		

施策の内容（２）女性の積極的な社会参画に関する情報提供

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現 状 と 課 題 (令和5年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和5年度)	担当課
	事業内容	指 標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
7	男女共同参画に関する講座の情報提供						男女共同参画推進の講座として、神奈川県、藤沢市及び茅ヶ崎市と連携した講座について情報提供を行った。 ①2市1町藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業 『当事者を政治の場へ～若い世代・女性の政治参加促進の活動から～』 日時:令和5年11月22日(水) ②男女共同参画特別講演会「仕事や家庭で役立つコミュニケーション講座～自分も相手も大切にするアサーションを学ぼう～」 日時:2023年(令和5年)12月18日(月)～2024年(令和6年)1月31日(水):YouTubeによる動画配信 ○2市1町広域連携事業1件 ・藤沢市 ジェンダー平等・男女共同参画講演会「D&Iがなぜ組織の成長に必要なのか？」	B	広報さむかわや町のホームページを活用し、講演会等の情報を広く集め提供することができたが、実績は3回となったため。	町民窓口課
	町内外で開催される、資格取得やスキルアップのための講座について情報提供します。	広報紙、ホームページ等での情報提供回数(回)	4	4	4	4				
			4	4	3			2		

施策の内容（２）女性の積極的な社会参画のための情報提供

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現 状 と 課 題 (令和5年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和5年度)	担当課
	事業内容	指 標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
8	求人に関する情報提供						ハローワーク藤沢、鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市と合同で湘南合同就職面接会を開催した。 ・日時:令和6年1月26日(金) ・場所:藤沢商工会館ミナパーク 町単独での面接会の実施は難しいため、ハローワークや近隣市と連携及び町内での周知が必要。 参加企業数30社、求人数61件、求人数97名、面接延数48人、採用者数13人、不採用者数35人、説明のみ46人 参加事業者 参加求職者数 ・藤沢市 14社 ・藤沢市26人 ・茅ヶ崎市10社 ・茅ヶ崎市12人 ・鎌倉市 4社 ・鎌倉市8人 ・寒川町 2社 ・寒川町5人 総数 30社 ・その他10人 総数61人(男38人・女23人) 採用者13人 ・寒川町1人・鎌倉市1人・茅ヶ崎市5人・藤沢市6人 寒川町ミニ面接会 ・日時:令和6年3月12日(水) ・場所:ハローワーク藤沢 参加企業5社、参加者延べ人数12名	A	求人情報提供数が目標の30件に達した。 寒川町からの参加事業者が2社ではあるが、町内からの参加求職者から採用に結びついた方もいた。 求人情報提供数30件の目標は変更せず、次年度も事業に継続して取り組む。	産業振興課
	役場ロビーにハローワークの求人検索のための検索端末等を設置し、情報提供に努めます。また、合同面接会等でも求人情報を提供します。	湘南合同就職面接会で求人情報を提供できた企業数(社)	30	30	30	30				
			16	24	30			2		

【基本目標Ⅰ】 推進協議会評価 (個別)	【基本目標Ⅰ】あらゆる分野での男女共同参画の推進 ＜各事業について＞ ○事業番号2: 勤労者実態調査の実施 ・勤労者実態調査の実施はコロナ社会の影響や働き方改革を理解するのに、とても必要な事だと思います。今後も引き続き調査を望む。 ○事業番号3: 女性委員登用の推進 ・委員選出についてご苦労されている事と思います。 団体や組織に依頼する際に、男女共同参画(女性の活躍推進)の重要性や男女別登用率等の現状を説明し、より多くの女性を推薦いただけるような(女性の推薦に導くような)依頼文としてはいかがでしょうか。 ・女性議員登用について、女性議員が減少した事について検討が必要。 ○事業番号4・5: 女性の活躍のための講座の開催 ・女性のための講座は年々参加も増えているので知らせ方も対象の方々もどちらも良いのだと思う。 少しずつ講座参加人数も増えているのでこのまま講座を続け多くの人にも関心を持って行って欲しいと思う。 ○事業番号8: 求人に関する情報提供 ・他地区と合同で面接会を開催したことや面接会のアクセスのよい藤沢としたことで、いろいろな方や企業が参加しやすく、目標を達成する要因になったのではないかなと思う。 ＜総評について＞ ・全体的に、概ね目標を達成できていることは評価したいと思います。 ・講座の開催等、女性の活躍推進に向け、引き続き他自治体とも連携しながら、取組を進めていってください。 なお、実施後のアンケート結果について、情報共有をお願いしたいです。 ・いろいろな手段で情報をあげてよいと思います。このまま続けて欲しい。 ・女性の活躍の場を町やさまざまな機関が関わることで人材育成や就職に向け積極的に取り組みされている。 ・各事業において、概ね目標達成がされており、引き続き計画内容に取り組むとともに、協議会等から要望や意見があった事業について充実や強化に取り組まれていくことを望みます。
【基本目標Ⅰ】 推進協議会評価 (事務局案)	＜各事業について＞ ○事業番号2: 勤労者実態調査の実施 ・勤労者実態調査の実施はコロナ社会の影響や働き方改革を理解するうえでとても必要なことであるため、今後も引き続き調査を行っていただきたい。 ○事業番号3: 女性委員登用の推進 ・団体や組織に委員の選出を依頼する際に、男女共同参画(女性の活躍推進)の重要性や男女別登用率等の現状を説明し、より多くの女性を推薦されるような依頼をしていただきたい。 ・女性議員登用について、女性議員が減少した事について検討していただきたい。 ○事業番号4・5: 女性の活躍のための講座の開催 ・女性のための講座は年々参加も増えているので、周知方法も対象者もどちらも良いのだと評価できる。 ○事業番号8: 求人に関する情報提供 ・他地区と合同で面接会を開催したことや面接会場をアクセスのよい藤沢としたことで、いろいろな方や企業が参加しやすくなり、目標を達成する要因になったと考える。 ＜総評について＞ ・全体的に、概ね目標を達成できていることは評価できる。 ・講座の開催等、女性の活躍推進に向け、引き続き他自治体とも連携しながら、取組を進めていただきたい。 ・いろいろな手段で情報の共有を続けていただきたい。 ・女性の活躍の場を町やさまざまな機関が関わることで、人材育成や就職に向け積極的に取り組みができています。 ・各事業において、概ね目標達成がされている。引き続き計画内容に取り組むとともに、協議会等から要望や意見があった事業について、充実や強化に取り組んでいただきたい。

〈基本目標Ⅱ 男女の人権の尊重と異性に対する暴力の根絶〉

施策の基本的方向 1. 異性に対する暴力防止の対策

施策の内容(1) 配偶者などからの暴力防止に関する意識啓発と被害者への支援

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現 状 と 課 題 (令和5年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和5年度)	担当課
	事業内容	指 標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の 方向性		
			実績	実績	実績	実績				
9	暴力防止に関する意識啓発						- 引き続きホームページへの掲載を行った。 2市1町広域連携事業において、デートDVの防止に向けた啓発チラシを作成し、寒川高校へ配付、公共機関での配架を行った。(チラシ1,000部) - 窓口や公共施設のトイレにチラシ等を置き、相談窓口の情報提供を行った。	A	ホームページへの掲載を継続し、生理用品配布時にDV相談等に関するチラシ配布することで、周知を図ることができたため。	町民窓口課
	広報紙等を通じてDVに関する情報発信を行い、暴力防止に関する意識啓発を行います。 啓発回数 (回)	4	4	4	4	- 新型コロナウイルス感染症での影響など様々な事情により、経済的な理由で生理用品を購入することが難しい方に、防災備蓄用の生理用品を無償で配布。(令和3年8月2日～)生理用品配布の際に、女性相談、DV相談等に関するチラシを併せて配布した。 - 今後も様々な機会を捉え、情報提供を行っていけるよう検討していく。	2			

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現 状 と 課 題 (令和5年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和5年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
10	DV等に関する相談や関係機関との連携		12	12	12	12	・関係機関との連絡会議(12月)1回 ・関係機関との定期的な情報交換11回	A	平塚保健福祉事務所茅ヶ崎支所と定期的に情報交換を行うなど、スムーズな連携が取れているため。	町民窓口課
	関係機関と連携しながらDV等に関する相談を受けるとともに、緊急一時保護事業に関する協定に基づき、DV被害者の緊急一時保護に向けた支援を行います。	関係機関との情報交換機会回数(回)	12	12	12	町で相談を受けた際は、平塚保健福祉事務所茅ヶ崎支所と連携を取り、相談にあたっている。また、平塚保健福祉事務所茅ヶ崎支所で受けた相談であっても、各種手続きで来庁される場合など連絡を取り合っており対応している。今後も適宜、情報提供できるよう努めていく。 町のDV相談受付件数:1件	2			

施策の内容（２）各種ハラスメント防止対策の推進

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現 状 と 課 題 (令和5年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和5年度)	担当課
	事業内容	指 標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
11	町役場における各種ハラスメント防止体制の充実	庁内での啓発回数 (回)	1	1	1	1	部長・課長級職員を対象に、ハラスメント防止も目的とした「アンコンシャスバイアス」研修を実施した。 無意識の偏見、思い込みに気付き、周囲に良い影響を与えるための方法論を学んだ。	A	啓発や研修により、ハラスメントが発生しないような職場環境づくりに努め、目標を達成したことから標記の評価とした。	人事課
	町職員間における各種ハラスメントの根絶に向けて、相談しやすい職場の雰囲気づくりや周知を行い、相談体制の充実を図ります。		1	1	1		研修名:「アンコンシャスバイアス研修」 研修日時:令和6年1月26日 参加人数:43名	2		

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現 状 と 課 題 (令和5年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和5年度)	担当課
	事業内容	指 標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
12	各種ハラスメント防止に関する啓発や各種相談窓口の情報提供	啓発回数 (回)	2	2	2	2	引き続きホームページへの掲載を行った。なお、令和5年度における町ホームページ訪問数(庁舎外・庁舎内を合わせた数)は120件。相談者には相談窓口の情報提供を行った。引き続き、より有意義な情報提供をどのように実施していくのかを検討していく。 また、引き続き、新型コロナウイルス感染症での影響など様々な事情により、経済的な理由で生理用品を購入することが難しい方に、防災備蓄用の生理用品を無償で配布。(令和3年8月2日～)生理用品配布の際に、女性相談、DV相談等に関するチラシを併せて配布した。令和5年度配付数115枚	A	ホームページへの掲載を継続し、生理用品配付時に女性相談等に関するチラシを配付することで、周知を図ることができたため。	町民窓口課
	広報紙などを活用し、各種ハラスメント防止に関する啓発や関係機関における各種相談窓口の情報提供を行います。		2	2	2			2		

施策の基本的方向 2. 人権尊重のための対策

施策の内容 (1) 人権侵害防止のための支援

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現 状 と 課 題 (令和5年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和5年度)	担当課
	事業内容	指 標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
			実績	実績	実績	実績				
13	各種相談の実施や人権に関する情報提供		4	4	4	4	6月1日人権擁護委員の日にJR寒川駅改札前において、11月に産業まつりにおいて、12月に町内スーパーマーケット2か所において人権に関する啓発活動を実施した。	A	目標どおり啓発活動を4回実施することができ、町民への人権意識の啓発を図ることができた。	町民窓口課
	人権相談など各種相談を実施し、関係機関との連携を図ります。また、人権に関する様々な情報提供を行うとともに、街頭での啓発活動などを通じて町民への意識啓発を行います。	街頭での人権啓発活動回数（回）	0	1	4	2				

施策の基本的方向 3. 生涯を通じた心身の健康づくりの充実

施策の内容 (1) 男女の心とからだの健康づくりへの支援

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現 状 と 課 題 (令和5年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和5年度)	担当課
	事業内容	指 標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
			実績	実績	実績	実績				
14	健康運動ボランティア地域活動支援						現状(実績) ①健康づくり体操の日 4/13、4/19、5/25、6/1、6/22、6/28、7/12、7/20、8/3、8/23、9/6、9/21、10/11、10/26、11/2、11/16、12/13、12/20、1/11、1/24、2/7、2/21、3/7、3/13 計24回開催。 延べ住民参加人数女性:956人、男性:198人参加	A	健康運動ボランティアによる地域支援活動⑴及び出前講座⑵は、昨年度より多く開催することができ、目標を上回った。今後⑴については、男性参加者が増えるよう男性にも興味のある内容等を検討する。	健康づくり課
	地域の実情やライフステージに合わせた健康づくりとして、町民が自主的に健康づくりや生活習慣病予防や健康維持・増進に取り組む機会の場を提供することで、健康づくりにおいて重要な要素となる町民のつながりの維持を図ります。	健康運動ボランティア地域活動実施回数(回)	45	45	45	45	②出前講座 老人ホームファミリー湘南での健康体操:年10回、延べ参加人数102人(男女内訳なし) その他、自治会等からの依頼:13件。延べ参加人数:1,202人(男女内訳なし) ③町事業等での協力 6/4食育ひろば、9/10レクリエーションフェスティバル、9/23アルツハイマーデー、10/7ふれあい福祉フェスティバル、計4件 課題 健康づくり体操の日⑴に関して、男性の参加率が低い結果となった。	1		

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現 状 と 課 題 (令和5年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和5年度)	担当課
	事業内容	指 標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
			実績	実績	実績	実績				
15	公民館講座（健康づくり講座）の開催		3	3	3	3	【町民センター】 ●からだにやさしい体操教室:7/5、7/19、延べ34人参加 ●健康講座:6/18、1/14、延べ56人参加 ●薬剤師から学ぶ正しい薬の飲み方講座:1/27、12人参加 【北部公民館】 ●ちよっと健康タイム(輪語り・健康体操):7/8～10/29(7回)、延べ69人参加 ●バドミントン教室:9/30～11/18(5回)、延べ23人参加 ●ほくぶくらぶ①ニュースポーツを楽しむ:7/8、9人参加 ●ほくぶくらぶ②ヘルシークッキング:10/11、8人参加 ●ほくぶくらぶ④スポーツ太極拳:12/13、11人 ●ほくぶくらぶ⑤ウェルネス体操、1/14、12人参加 【南部公民館】 ●セルフ腸もみダイエット:4/24、5/29、延べ16人参加 ●脳と身体の健康リトミック体操:6/26～11/13(6回)、延べ88人参加	A	計画どおり、公民館事業で健康に関する講座として多くの機会を提供することができた。	教育政策課
	公民館講座を通じて健康に対する意識付けを図るなど、町民の健康づくりを支援します。	講座の開催回数（回）	8	17	29	2				

施策の内容（２）性に関する正しい知識と普及啓発

事業 番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現 状 と 課 題 (令和5年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和5年度)	担当課
	事業内 容	指 標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
16	新成人への健康教育の実施		1	1	1	1	現状(実績) 令和5年度においては、配布数0。	D	担当課にて、成人式においてのパンフレット等の配布を取りやめたことから新成人へのパンフレットの配布が難しくなり、令和5年度より廃止となってしまった。 今後状況に応じて配布が可能となった場合には、再度の配布を検討する。	健康づくり課
	新成人へのパンフレット配布による健康教育を実施します。	小冊子の配布回数(回)	0	1	0		課題 担当課にて、成人式においてのパンフレット等の配布を取りやめたことから新成人へのパンフレットの配布が難しくなり、配布するタイミングがなくなってしまった。	4		

事業 番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現 状 と 課 題 (令和5年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和5年度)	担当課
	事業内容	指 標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
17	豊かな心・文化育成事業		10	10	10	10	町内小・中学校において、新学習指導要領に基づいて、保健体育科や特別の教科 道徳科などの各教科、総合的な学習の時間等を通じて、性に関する内容を取り扱い、適切に指導を図った。 性教育に関しては、正確な理解を通して適切な行動に結びつくことから、今後も子どもの発達段階に応じて、教育活動の機会を捉えて適宜指導することが必要である。 また、「多様な性」について理解する必要がある。	A	町立小・中学校において、子どもたちの発達段階や実態に応じて性教育に関する指導を行った。特にデリケートな内容については、男女を分けて指導したり、養護教諭等と連携して対応したりすることにより、個の事情に応じた指導につなげている。	学校教育課
	教科や道徳の時間、総合的な学習の時間等を通して、性教育を推進します。	性教育実施時間数（時間）	10	10	10	2				

【基本目標Ⅱ】
男女の人権の尊重
と異性に対する暴
力の根絶（個別）

【基本目標Ⅱ】男女の人権の尊重と異性に対する暴力の根絶
＜各事業について＞

○事業番号9:暴力防止に関する意識啓発

・啓発チラシを寒川高校へ配布する取り組みは良い。配布したチラシを配布する際、簡単に内容を説明してもらうことはできないものか。

○事業番号10:DV等に関する相談や関係機関との連携

・DVにもさまざまなタイプがあるが、本人が認識しその事を相談するのはとてもハードルが高く、関係機関と情報交換はとても重要だと思います。
相談しやすい窓口を今後も望む。

・DV等暴力被害者の支援について、相談・支援のニーズが生じた際に、迅速かつ対象者と支援者の安全を確保しながら適切な対応がいつでもとれるよう、引き続き、関係機関で定期的な情報交換や互いの役割等について共通認識を図るための取組が重要と感じます。

○事業番号9・10:暴力防止に関する意識啓発・DV等に関する相談や関係機関との連携

・DVを家庭内で受けていても、まだまだ外に発信できない人も多い。あらゆる方法で相談できる場所が見つけられる様、更に広げられると良いと思う。

○事業番号11・12:町役場における各種ハラスメント防止体制の充実・各種ハラスメント防止に関する啓発や各種相談窓口の情報提供

・ハラスメントという言葉にもこの数年で誰もが慣れ、様々な内容の物が聞こえるようになっている。この相談も増えていくので相談場所を、窓口が見つけやすい工夫が必要だと思います。

○事業番号13:各種相談の実施や人権に関する情報提供

・人権に関する情報提供や啓発活動については、目標を達成できてよかった。時期や場所については目的に応じて検討をしていく必要があると思った。

・人権相談などの各種相談については、推進していく必要がある。

○事業番号16:新成人への健康教育の実施

・今後の方向性について、「事業の休止または廃止」ではなく、「一部見直しが必要」としたらいかがでしょうか。

・会議の場でも、担当課から、「パンフレット等の作成を休止したわけではなく、別の方法を検討したい」との説明もあったため、成人式の通知と一緒にパンフレット等を送付したり、ネット配信といった別の方法での周知を検討いただけたらと思います。

○事業番号17:豊かな心・文化育成事業

・先生方への研修も併せて行っていたけるとよりよい取り組みになる。

＜総評について＞

・ほとんどの事業で目標を達成できていることは評価したいと思います。

・寒川駅での啓発活動や生理用品配布と合わせた相談事業の周知、DV相談等の関係機関との連携、子供たちの発達段階・実態に応じた指導等、地道かつ丁寧な活動、寄り添った活動は今後も継続をお願いしたいです。

・配布物と合わせて女性相談、DV相談のチラシの配布は、とても目につく取組みだと思う。

・男女、年齢の隔たりなく参加できる事業の取組が充実している。

・その他の事業については、引き続き計画内容に取り組むとともに、協議会等から要望や意見があった事業について充実や強化に取り組まれていくことを望みます。

【基本目標Ⅱ】 男女の人権の尊重 と異性に対する暴 力の根絶 (事務局案)	<各事業について> ○事業番号9:暴力防止に関する意識啓発 ・啓発チラシを寒川高校へ配布する取り組みは良い。チラシを配布する際、内容を簡単に説明することはできないものか。 ○事業番号10:DV等に関する相談や関係機関との連携 ・DVにもさまざまなタイプがあるが、本人が認識その事を相談するのはとてもハードルが高く、関係機関との情報交換はとても重要と考える。 ・今後も相談しやすい窓口を望む。 ・DV等暴力被害者の支援について、相談・支援のニーズが生じた際に、迅速かつ対象者と支援者の安全を確保しながら適切な対応がいつでもとれるよう、引き続き、関係機関で定期的な情報交換や互いの役割等について共通認識を図るための取組が重要と考える。 ○事業番号9・10:暴力防止に関する意識啓発・DV等に関する相談や関係機関との連携 ・DVを家庭内で受けていても、まだまだ外に発信できない人も多い。相談できる場所を見つけられるよう、あらゆる方法で周知していただきたい。 ○事業番号11・12:町役場における各種ハラスメント防止体制の充実・各種ハラスメント防止に関する啓発や各種相談窓口の情報提供 ・ハラスメントという言葉にもこの数年で誰もが慣れ、様々な内容のものが聞こえるようになっている。この相談も増えていくので、相談場所・窓口が見つけやすい工夫が必要だと考える。 ○事業番号13:各種相談の実施や人権に関する情報提供 ・人権に関する情報提供や啓発活動については、目標を達成できことを評価する。時期や場所については、目的に応じて検討していただきたい。 ・人権相談などの各種相談については、推進していただきたい。 ○事業番号16:新成人への健康教育の実施 ・今後の方向性について、「事業の休止または廃止」ではなく、「一部見直しが必要」としたらいかがか。 ・会議の場でも、担当課から、「パンフレット等の作成を休止したわけではなく、別の方法を検討したい」との説明もあったため、成人式の通知と一緒にパンフレット等を送付したり、ネット配信といった別の方法での周知を検討していただきたい。 ○事業番号17:豊かな心・文化育成事業 ・先生方への研修も併せて行っていただきたい。 <総評について> ・ほとんどの事業で目標を達成できていることは評価できる。 ・寒川駅での啓発活動や生理用品配布と合わせた相談事業の周知、DV相談等の関係機関との連携、子供たちの発達段階・実態に応じた指導等、地道かつ丁寧な活動、寄り添った活動は今後も継続していただきたい。 ・配布物と合わせて女性相談、DV相談のチラシの配布は、とても目につく取組みであると評価できる。 ・男女、年齢の隔たりなく参加できる事業の取組が充実している。 ・その他の事業については、引き続き計画内容に取り組むとともに、協議会等から要望や意見があった事業について充実や強化に取り組んでいただきたい。
--	--

<基本目標Ⅲ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）推進のための環境づくり>

施策の基本的方向 1. 誰もが働きやすい就業環境づくり

施策の内容（1）ワーク・ライフ・バランスについての理解促進

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現 状 と 課 題 (令和5年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和5年度)	担当課
	事業内容	指 標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
18	ワーク・ライフ・バランスに関する企業への啓発		3	3	3	3	国や県から提供された情報をホームページ、広報、窓口による周知等により、町内事業者に対する啓発を図った。	A	広報等による周知を行うことで町内事業者に対する啓発を図ることができたため。	産業振興課
	国や県からのチラシ・パンフレットを町内事業所に対して配布し、制度の周知や普及の促進を図ります。	企業への啓発回数（回）	3	3	3			2		

施策の内容（2）女性の就業・雇用環境改善のための支援の充実

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現 状 と 課 題 (令和5年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和5年度)	担当課
	事業内容	指 標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
19	労働相談に関する情報提供		3	3	3	3	・県や各関係機関が実施する各事業や相談先について、町HPで情報提供を行った。	A	HPによる周知やチラシの配架により情報提供を行った。 次年度以降も、必要な情報を精査した上で、HP等に掲載をしていく。	産業振興課
	広報紙やホームページ等で労働相談窓口などの情報提供を行うとともに、相談内容に応じて関係機関を紹介するなど、労働相談に関する情報提供を行います。 また、関係機関と協力し労働者向けに労働に関する相談会を実施します。※雇用情勢により実施しない場合もあります。	広報紙・ホームページでの情報提供回数（回）	6	5	5			2		

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現 状 と 課 題 (令和5年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和5年度)	担当課
	事業内容	指 標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
20	労働講座の開催		1	1	1	1	労政問題懇話会との共催で労働講座を開催した。 日時: 令和5年10月25日(水) 18:30～19:50 場所: 東分庁舎 会議室 テーマ: "資産形成セミナー" 「知って得する積立投資の魅力」 ～iDeCo・つみたてNISAの活用～ 講師: 中央労働金庫茅ヶ崎支店長 参加者数: 35名	A	労政問題懇話会と連携し、労働講座を開催することができたため。	産業振興課
	関係機関と協力し、労働環境の改善に関する講座を開催します。	開催回数(回)	0	1	1			2		

施策の内容(3) 育児・介護に関する制度の理解と普及の促進

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現 状 と 課 題 (令和5年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和5年度)	担当課
	事業内容	指 標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
21	育児休業取得の促進		100	100	100	100	配偶者が出産した男性職員: 7名 育児休業を取得した男性職員: 5名(取得日数: 29、71日、29日、29日、28日) なお、配偶者が出産した男性職員7名の特別休暇の取得状況は次のとおり。 出産付添いの特別休暇(3日以内): 7名(各2～3日) 育児参加のための休暇(5日以内): 6名(各1～5日)	C	対象となる職員に対して育児に伴う休暇休業について制度周知を図ったものの、目標には未達であったことから標記の評価とした。	人事課
	町職員が男女ともに育児休業を取得しやすい環境を整備し、子育ての支援を図ります。	男性職員の育児休業取得率(%)	31	80	71			2		

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現 状 と 課 題 (令和5年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和5年度)	担当課
	事業内容	指 標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
22	介護休業取得の促進		1	1	1	1	家族の介護等を行う職員からの制度等の相談について制度周知を図るとともに、詳細について説明を行っている。	A	対象となる職員に対して介護に伴う休暇休業についての制度の周知を図り、目標を達成したことから標記の評価とした。	人事課
	町職員が男女ともに介護休業を取得しやすい環境を整備し、介護への支援を図ります。	庁内での啓発回数(回)	1	1	1			2		

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現 状 と 課 題 (令和5年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和5年度)	担当課
	事業内容	指 標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
23	ワーク・ライフ・バランスに関する企業への啓発（再掲）		3	3	3	3	国や県から提供された情報をホームページ、広報、窓口による周知等により、町内事業者に対する啓発を図った。また県の働き方改革に係るセミナーの後援をした。	A	広報等による周知や後援をすることで町内事業者に対する啓発を図ることができたため。	産業振興課
	国や県からチラシ・パンフレットを町内事業所に対し配布し、制度の周知や普及の促進を図ります。	企業への啓発回数（回）	3	3	3			2		

施策の基本的方向 2. 仕事と家庭・地域活動との両立の支援
 施策の内容（1）子育て・ひとり親家庭への支援

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現 状 と 課 題 (令和5年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和5年度)	担当課
	事業内容	指 標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
24	保育環境充実事業		120	120	120	120	認可保育所等に通常保育事業の実施を委託し、併せて事業に対して助成を行った。 令和7年4月に幼稚園から幼稚園型認定こども園への移行を希望している施設に対し、2ヶ年計画で施設整備に対する補助金を交付し支援を行うとともに、保育園2園で行った防犯対策のためのフェンス等の修繕に対し国庫補助金を活用し、保育環境を整えた。 また、開所に向け補助金の交付等支援をしてきた小規模保育施設ちやいどぼーむが令和5年4月に開所し、定員が19人増となった。	B	既存の認可保育所が面積要件や保育士配置基準を満たしたうえで、定員以上の受入をしている。 保育の必要性のある児童を認可保育所等において保育することで保護者の就労支援を行うことができた。	保育幼稚園課
	認可保育所や認可外保育施設、私立幼稚園に給付費や補助金を支出することにより、保育所の設備及び運営基準の維持、事業の充実を図ります。	定員に対する入所率（%）	101	107	107			2		

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現 状 と 課 題 (令和5年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和5年度)	担当課
	事業内容	指 標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
25	子育て支援相談事業		100	100	100	100	相談日：月から金 9:00～16:00 相談件数 710 件 課題等：育児不安を抱える家庭は増加の傾向にあり、相談内容も多岐に渡り、複雑化・長期化の傾向がある。	A	他機関との連携を含む継続フォローや支援等、悩みを抱える子育て家庭へのサポートを行い、養育者の負担軽減を図った。 相談に対しては、全数対応できた。	子育て支援課
	子育て全般についての相談指導と育児情報の提供を行います。	相談への対応率（%）	100	100	100			2		

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現 状 と 課 題 (令和5年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和5年度)	担当課
	事業内容	指 標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
26	児童クラブ運営事業		270	301	309	315	開所日288日 自宅で保育を受けることができない児童を受け入れることにより、保護者の就労や女性の社会進出を支援する。各児童クラブの運営負担を軽減するため寒川学童保育会に一括して運営委託を行った。	B	保護者が労働等により昼間、家庭にいない小学校に就学している児童に対し、適切な遊び及び生活の場を与えて、児童の健全な育成を図ることができた。	学び推進課
	保護者が労働等により放課後等家庭にいない児童に、適切な遊びや生活の場を与え、児童の健全な育成を推進します。	入所児童数(人)	247	266	265			2		
事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現 状 と 課 題 (令和5年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和5年度)	担当課
	事業内容	指 標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
27	ひとり親家庭等医療費助成事業		100	100	100	100	ひとり親家庭等医療費助成事業の該当者に対し、窓口等において周知するとともに、助成対象者に対する助成を実施した。 R5助成対象者数:816人 (参考) 児童扶養手当非受給世帯及び人数 R1 :21世帯(49人) R2 :17世帯(38人) R3 :17世帯(39人) R4 :18世帯(40人) R5 :22世帯(49人)	A	離婚や死亡、転入転居等の手続きの機会に窓口や電話で説明・周知を行っている。その後の世帯や所得の状況の変化により申請しないケースがあると思われるが、該当者への周知や助成対象者への助成は実施できている。	子育て支援課
	ひとり親家庭等の人が病院等を受診したときに支払う医療費のうち、保険診療分の自己負担額を助成します(所得制限有り)。	助成率(%)						2		

施策の内容（２）男性の家事・育児・介護などへの参加の促進

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現 状 と 課 題 (令和5年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和5年度)	担当課
	事業内容	指 標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
28	父親・母親教室の開催		100	100	100	100	計画通り5コースを開催した。延べ妊婦127人 夫64人参加。各コース4日目の日曜日は、妊婦とパートナー2人での参加はおおよそ92.85%であった。参加延べ人数(妊婦+夫)に対する夫(パートナー)の割合は年々増加し、H29年度23.8%であったが、R5年度33.5%となっている。平日3日間の夫(パートナー)のべ参加数 25名	B	コロナ感染症は5類になったが、感染防止対策をとりながら、計画どおり教室を開催できた。 全日程で、父へ育児参加の重要性を説明している。	子育て支援課
	妊婦とそのパートナーを対象にした、妊娠・出産・育児や家庭づくり等についての講座の開催を通じて、男女が協力して家事や育児を行うことについて意識啓発を図ります。	参加者の満足度(%)	94	97	96			2		

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現 状 と 課 題 (令和5年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和5年度)	担当課
	事業内容	指 標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
29	母子訪問指導事業		1,000	1,000	1,000	1,000	訪問件数は目標値を上回ったものの、母子訪問合計は減少している。 出生数の減少が要因と考えている。 テレワーク等により在宅している夫(パートナー)と可能であれば面接指導をするよう務めた。	A	母子健康手帳交付時に父向けのテキストを配布し、父親の育児参加を促している。産後の訪問についても妊娠中や出産後に父親に直接周知することで、訪問の受け入れも良好である。訪問時には男性の育児参加への意識啓発も実施している。	子育て支援課
	乳幼児を育てている家庭を訪問し、育児状況の確認や子どもと養育者の心身の健康づくりへの助言等と併せて、男性の育児参加への意識啓発を行います。	母子訪問合計件数 (件)	1,443	1,317	1,186			2		

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現 状 と 課 題 (令和5年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和5年度)	担当課
	事業内容	指 標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
30	介護教室の開催		105	105	105	105	○家族介護教室 合計2回開催、20名参加（男性1名、女19名）。 介護予防及び終末期について、男女問わず考えるきっかけとなるような内容を展開。 今後も取り上げるべきテーマやトピックを充分検討のうえ開催予定。 ○認知症高齢者介護教室（認知症サポーターステップアップ講座） 住民向けの講座を2回、町内の企業や団体向けの講座を6回実施し、合計101名（男性30名、女71名）の参加があった。次年度も継続的に講座を開催し、 認知症になっても過ごしやすい町づくりを目指す。	A	○家族介護教室 主旨の異なるテーマにて複数回の開催ができたため。 ○認知症高齢者介護教室（認知症サポーターステップアップ講座） 認知症サポーター養成講座を終了した方向向けの講座であり、グループワークを実施することで参加者が主体的に認知症の方の気持ちとかかわり方について考えられる教室になっているため。	高齢介護課
	介護技術・対応方法を習得するための講習会の開催を通じて、男女がともに介護を担うことの意識啓発を図ります。	講座の参加人数（人）	61	172	121			2		

施策の内容（３）地域活動への参加の促進

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現 状 と 課 題 (令和5年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和5年度)	担当課
	事業内容	指 標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
31	公民館講座（男性向け講座）の開催		3	3	3	3	【北部公民館】 ●メンズクッキング教室 2/25、11人参加	C	町民の地域活動への参加を促進するための講座等は実施しているが、参加対象者の性別は限定しない形式で開催している。公民館は男性利用者が少ないため、男性に特化した企画も今後検討が必要。	教育政策課
	公民館講座を通じて、男性の地域活動への参加に対する意識づけを促進します。	講座の開催回数（回）	3	0	1			3		

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現 状 と 課 題 (令和5年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和5年度)	担当課
	事業内容	指 標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
32	ファミリーサポートセンター事業		1,720	1,690	1,680	1,660	5年度末の会員数については、おねがい会員646人、まかせて会員122人、どっちも会員127人であった。 課題等：おねがい会員数に対し、まかせて会員数が少ない。引き続きおねがい会員からまかせて会員やどっちも会員に登録していただける会員を増やしていくことや、事業内容の周知に引き続き取り組んでいく必要がある。	A	活動件数は目標値を達成した。習い事への送迎、学童保育の迎え、保護者の短時間就労による利用が多かった。（対前年度比約20%減となったが、件数多く依頼していた家庭が、家庭事情の変化により利用を終了したことによるもの。）	子育て支援課
	育児の援助を受けたい人を行う人が会員となって一時預かり等の事業を行うことにより、育児世代の地域活動への参加を支援します。	活動件数（件）	2,964	3,030	2,437			2		

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現 状 と 課 題 (令和5年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和5年度)	担当課
	事業内容	指 標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
33	生涯学習に関する情報提供		6	6	6	6	男女を問わず、生涯学習に関する情報を提供した。 1.さむかわ町民大学（年2回発行）各200部発行 2.出前講座 3.4.生涯学習人材登録制度「ステップアップ」メニュー紹介用/登録者募集用 5.さむかわ生涯学習総合案内 各200部発行 ○町ホームページ関連ページのページビュー数は457件	A	パンフレットや情報紙を発行し、町内各施設に配架するとともに、町ホームページにおいても掲載することで、幅広い世代に対して生涯学習に関する情報提供を行うことができた。課題としては、より多くの人に情報が届くよう、学習情報の効果的な周知や表現方法を検討していく必要がある。	学び推進課
	さむかわ町民大学、出前講座、生涯学習人材登録等の学習情報を提供し、地域活動への参加を支援します。	広報紙、ホームページ、パンフレットでの啓発回数（回）	6	6	6			2		

【基本目標Ⅲ】仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）推進のための環境づくり（個別）	【基本目標Ⅲ】仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）推進のための環境づくり <各事業について> ○事業番号21: 育児休業取得の促進、事業番号31: 公民館高座（男性向け講座）の開催 ・会議の場でもご説明いただいている部分はありませんが、「現状と課題」の欄に遅れることとなった理由（課題）を記入いただけると評価がしやすいと思います。 ※記載の2事業以外でも、できる限り課題等を書いていただけると話し合いがしやすいと考えます。 ○事業番号21: 育児休業取得の促進 ・男性の育児休業取得については、制度について対象者だけでなく職員全員が制度の理解と協力の意識を高める必要がある。 ・男女共に育休を取り、残された人も大変にならずに働けるようにしていけると、もっと取りやすくなるように思います。 ・男性も育児休暇を取れるように努力をしていただき感謝しているが、代わりが見つかるか残された人に負担がかかることを考えると取りにくいと感じる人が多いと思う。育児参加のための休暇については知らなかったので、周知をよりしていただけるとありがたい。 ○事業番号24: 保育環境充実事業 ・幼稚園からこども園の移行は、待機児童問題を考える際に必要な対策だと考える。今後とも継続していくことを期待している。 ○事業番号26: 児童クラブ運営事業 ・学童の枠も広がり子どもたちは入所できる子も増えた。 ○事業番号28: 父親・母親教室の開催 ・妊婦と夫（パートナー）の参加が増加している事は評価している。育休を取る妊婦も増加しているため、皆が参加できると尚良いと思う。 ○事業番号32: ファミリーサポートセンター事業 ・このような助け合いの事業自体、とてもよい取組だと思います。また、現状や課題、評価の理由の記載がわかりやすかったです。特定の利用者に偏りがちな部分はあると思いますが、利用者の安全を確保しつつ、取組を継続してってください。 ・幅広い世代の方に、この事業について周知し、町全体でサポートできたら良いと思う。 <総評について> ・全体的に概ね目標を達成できていることは評価したいと思います。 ・国や県からの情報提供について、ご協力いただきありがとうございます。情報提供したことに関する町民からの反応等、把握されていることがあれば情報共有をお願いしたいです。 ・仕事と生活の調和として、男性への家事・育児・介護への取り組みは、男女が協力して行うことを意識できた。母子訪問指導での父親へのアプローチはとても評価できる。 ・各事業において、概ね目標達成がされており、引き続き計画内容に取り組むとともに、協議会等から要望や意見があった事業について充実や強化に取り組まれていくことを望みます。
【基本目標Ⅲ】仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）推進のための環境づくり（事務局案）	<各事業について> ○事業番号21: 育児休業取得の促進、事業番号31: 公民館高座（男性向け講座）の開催 ・会議の場でもご説明いただいている部分はありませんが、「現状と課題」の欄に遅れることとなった理由（課題）を記入いただけると評価がしやすいと考える。 ※記載の2事業以外でも、できる限り課題等を書いていただけると話し合いがしやすいと考える。 ○事業番号21: 育児休業取得の促進 ・男性の育児休業取得については、制度について対象者だけでなく職員全員が制度の理解と協力の意識を高める必要がある。 ・男女共に育休を取り、残された人も大変にならずに働けるようにしていけると、もっと取りやすくなると思う。 ・男性も育児休暇を取れるように努力をしていただき感謝しているが、代わりが見つかるか残された人に負担がかかることを考えると取りにくいと感じる人が多いと思う。育児参加のための休暇については知らなかったなので、より周知をしていただきたい。 ○事業番号24: 保育環境充実事業 ・幼稚園からこども園の移行は、待機児童問題を考える際に必要な対策だと考える。今後とも継続していくことを期待している。 ○事業番号26: 児童クラブ運営事業 ・学童の枠も広がり子どもたちは入所できる子も増えたことは評価できる。 ○事業番号28: 父親・母親教室の開催 ・妊婦と夫（パートナー）の参加が増加している事は評価できる。育休を取る妊婦も増加しているため、皆が参加できるとな良いと考える。 ○事業番号32: ファミリーサポートセンター事業 ・このような助け合いの事業自体、とてもよい取組であると思う。また、現状や課題、評価の理由の記載がわかりやすかった。特定の利用者に偏りがちな部分はあると思うが、利用者の安全を確保しつつ、取組を継続していただきたい。 ・幅広い世代の方に、この事業について周知し、町全体でサポートできたら良いと考える。 <総評について> ・全体的に概ね目標を達成できていることは評価できる。 ・国や県からの情報提供について、ご協力いただき感謝する。情報提供したことに関する町民からの反応等、把握されていることがあれば情報共有を望む。 ・仕事と生活の調和として、男性への家事・育児・介護への取り組みは、男女が協力して行うことを意識できた。母子訪問指導での父親へのアプローチはとても評価できる。 ・各事業において、概ね目標達成がされており、引き続き計画内容に取り組むとともに、協議会等から要望や意見があった事業について充実や強化に取り組んでいただきたい。

〈基本目標Ⅳ 男女共同参画社会への理解促進〉

施策の基本的方向 1. さまざまな場における意識づくりの推進

施策の内容（１）職場や地域における意識啓発

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現 状 と 課 題 (令和5年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和5年度)	担当課
	事業内容	指 標	目標値	目標値	目標値	目標値				
			実績	実績	実績	実績				
34	男女共同参画に関する講座の開催		100	100	100	100	①(2市1町)藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業 開催日:2023年(令和5年)1月22日(水) 会 場:茅ヶ崎市役所分庁舎6階コミュニティホール 講 師:能條桃子(のうじょう ももこ)氏 一般社団法人NO YOUTH NO JAPAN 代表理事 一般社団法人NewScene 代表 FIFTYS PROJECT代表 テーマ:「当事者を政治の場へ～若い世代・女性の政治参加促進の活動から～」 参加人数:55名	A	①②の出席者数が合計278人であったため。 男女共同参画白書(令和5年版)によると、「未婚女性の理想のライフコース、未婚男性の将来のパートナーに対する期待を見ると、「両立コース」が「再就職コース」を大きく上回るなど、近年、主に若い世代の理想とする生き方は、変わってきている。このような変化を捉え、我が国の未来を担う若い世代が、理想とする生き方、働き方を実現できる社会を作ることこそが、今後の男女共同参画社会の形成の促進において、重要である。また、このことが、家族の姿が変化し、人生が多様化する中で、全ての人の活躍にもつながるものと考えられる。」と報告されている。 固定的性別役割分担を前提とした長時間労働等の慣行を見直し、全ての人が希望に応じて、家庭でも仕事でも活躍できる社会を実現するため、意識改革として男女共同参画講演会や人権等についての講演会を開催することは意義のあることと考える。	町民窓口課
	事業所向けまたは生活に密着した視点から男女共同参画に関する講座を開催し、職場や地域における男女共同参画への意識啓発を図ります。	講座の参加人数(人)	135	188	278	②神奈川県との男女共同参画推進市町村連携事業実施日:2023年(令和5年)12月18日(月) ～2024年(令和6年)1月31日(水) 実施場所:YouTubeによる動画配信 講 師:並木 友里(なみき ゆり)氏 テーマ:仕事や家庭で役立つコミュニケーション 講座 ～自分も相手も大切にするアサーションを学ぼう～ 参加者数:223名	2			

事業 番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現 状 と 課 題 (令和5年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和5年度)	担当課
	事業内容	指 標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
35	人権教育推進事業		2	2	2	2	【町民センター】 ●川崎市平和館と日本民家園バスツアー:3/27、33人参加 【総合図書館】 ●みんなの映画会:11/19、17人参加	A	計画どおり、人権に関わるテーマとした講座を公民館、図書館事業として提供することができた。	教育政策課
	人権教育講演会等の講座、講演会を開催して、男女共同参画の意識啓発など社会教育の機会を提供します。	講座の開催回数（回）	2	3	2		2			

施策の内容（２）家庭における意識啓発

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現 状 と 課 題 (令和5年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和5年度)	担当課
	事業内容	指 標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
36	父親・母親教室の開催（再掲）		100	100	100	100	計画通り5コースを開催した。延べ妊婦127人 夫64人参加。各コース4日目の日曜日は、妊婦とパートナー2人での参加はおおよそ92.85%であった。参加延べ人数(妊婦+夫)に対する夫(パートナー)の割合は年々増加し、H29年度23.8%であったが、R5年度33.5%となっている。平日3日間の夫(パートナー)のべ参加数 25名	B	コロナ感染症は5類になったが、感染防止対策をとりながら、計画どおり教室を開催できた 全日程で、父へ育児参加の重要性を説明している。	子育て支援課
	初妊婦とそのパートナーを対象にした、妊娠・出産・育児や家庭づくり等についての講座の開催を通じて、男女がお互いを理解し尊重することについて意識啓発を図ります。	参加者の満足度（%）	94	97	96			2		
事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現 状 と 課 題 (令和5年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和5年度)	担当課
	事業内容	指 標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
37	家庭教育講座等開催事業		4	4	4	4	【町民センター】 ●えいごであそぼう:6/2、14人参加 ●ママとベビーのふれあい体操:12/14、10人参加 ●親子工作教室:1/28、10人参加 ●星空観察会:2/18、27人参加 ●みんなでたのしむオペラ「ヘンゼルとグレーテル」、2/24、189人参加 【北部公民館】 ●おはなし図書館4～3月(5回)、延べ16人参加 ●夏休みおはなし図書館:7/25～8/22(3回)、延べ37人参加 ●バルーンで遊ぼうwithおはなし図書館:12/17、11人参加 ●親子でホテル観察会:5/28、34人参加 ●北部ハロウィン:10/28、33人参加 【南部公民館】 ●おはなし広場幼児:4～3月(12回)、延べ191人参加 ●親子でクラフト教室:4～3月(12回)、延べ192人参加 ●親子でリトミック教室:11/8、11/15、延べ62人参加 ●クリスマス広場、12/16、87人 ●親子で和菓子体験教室:8/8、13人参加 ●親子寄せ植え教室:10/29、20人参加 ●新米/ババママのためのお助け講座:6/3、8人参加 【総合図書館】 ●おひざにだっこのおはなし会、4～3月(22回)、延べ54組参加 ●出張わらべうた会、4/13、12/7、2/9、延べ14組参加	A	子育て家庭を支援するため、地域での家庭教育や親子参加型の講座・イベント等の参加しやすい活動を工夫し、機会を提供することができた。	教育政策課
	家庭教育講座等を開催して、男女共同参画の意識啓発など社会教育の機会を提供します。	講座の開催回数（回）						2		
			5	60	71					

施策の内容（３）学校等における意識啓発

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現 状 と 課 題 (令和5年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和5年度)	担当課
	事業内容	指 標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
38	教職員の資質向上事業		230	230	230	230	教職員研修会(4/27,5/22,7/3,8/25(全4回, 227名)及び教育講演会(7/21,8/6名)において、人権感覚や男女共同参画に配慮した指導や教育課題に向けての研修を行い、教職員の意識を高めた。 ・研修会、教育講演会参加男女比4:5	A	充実した研修会、講演会を行うことができた。児童・生徒の自己肯定感を高める研修や、ネットトラブルにおける人権侵害防止など、社会や教職員のニーズに沿った視点を引き続き今後の研修に取り入れ、教職員の意識向上等を目指していく必要がある。	学校教育課
	教職員向け講演会や研修会等を開催し、児童・生徒への人権を配慮した教育の充実を図ります。	研修会等への参加者数(人)	56	246	313			2		

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現 状 と 課 題 (令和5年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和5年度)	担当課
	事業内容	指 標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
39	中学生人権作文コンテストの実施		150	150	150	150	人権作文コンテストについては、夏休みの宿題で選択制となっている。そのため、増減数については予想することが難しいが、令和5年度に募集を行った結果、83名の応募があった。	C	目標を達成することができなかった。次年度も教頭会等で人権作文コンテストの周知を図っていく。	町民窓口課
	関係機関と連携して人権作文コンテストを実施し、人権に対する生徒の意識啓発を図ります。	作文の応募者数(人)	99	295	83			2		

【基本目標Ⅳ】男女共同参画社会への理解促進（個別）			【基本目標Ⅳ】男女共同参画社会への理解促進 <各事業について> ○事業番号34: 男女共同参画に関する講座の開催 ・講座を開かれる場合、男性の参加を増やす講演をされともっと良いと思います。 ・男女共同参画を理解するのに講座は参加しやすい。特にYouTubeを利用する事で、若い世代にも身近に感じる。 ○事業番号36: 父親・母親教室の開催(再掲) ・父母教室、たくさん勉強、経験はしてほしいのは理解するが、回数でコースになっていると、行く前、参加を決める前に気持ちの負担も大きいように感じる。 ○事業番号39: 中学生人権作文コンテストの実施 ・教頭会等での周知を予定されているようですが、各学校においても、なぜ、中学生の夏休みの宿題として、人権作文コンテストを実施しているのか、生徒に男女共同参画の意義が伝わるよう工夫していただけるとよいと思います。 <総評について> ・全体的に、概ね目標を達成できていることは評価したいと思います。 ・職場や地域、家庭、学校等への意識啓発について、引き続き関係機関と連携して取組を進めていってください。 ・家庭から地域、教育、社会へと男女共同参画社会に目を向ける意識啓発ができている。今後も続けて取り組む必要がある。 ・多くの物が目標より多く参加しているのがすばらしいと思う。これからも多くの人に伝えられるよう。 ・各事業において、概ね目標達成がされており、引き続き計画内容に取り組むとともに、協議会等から要望や意見があった事業について充実や強化に取り組まれていくことを望みます。							
---------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【基本目標Ⅳ】 男女共同参画社会 への理解促進 (事務局案)	<各事業について> ○事業番号34: 男女共同参画に関する講座の開催 ・講座を開催する場合、男性の参加を増やす内容の講演にすることを望む。 ・男女共同参画を理解するのに講座は参加しやすい。特にYouTubeを利用する事で、若い世代にも身近に感じる。 ○事業番号36: 父親・母親教室の開催(再掲) ・父母教室、たくさん勉強、経験をしてほしいのは理解するが、回数でコースになっていると、行く前、参加を決める前に気持ちの負担も大きいように感じる。 ○事業番号39: 中学生人権作文コンテストの実施 ・教頭会等での周知を予定しているようだが、各学校においても、なぜ、中学生の夏休みの宿題として、人権作文コンテストを実施しているのか、生徒に男女共同参画の意義が伝わるよう工夫していただきたい。 <総評について> ・全体的に、概ね目標を達成できていることは評価できる。 ・職場や地域、家庭、学校等への意識啓発について、引き続き関係機関と連携して取組を進めていただきたい。 ・家庭から地域、教育、社会へと男女共同参画社会に目を向ける意識啓発ができている。今後も続けて取り組む必要があると考える。 ・多くの事業が目標より多く参加していることは評価できる。これからも多くの人に伝えていただきたい。 ・各事業において、概ね目標達成がされており、引き続き計画内容に取り組むとともに、協議会等から要望や意見があった事業について充実や強化に取り組まれていくことを望む。
---	--